

## ごあいさつ

東レグループは、環境保全・  
環境改善に真剣に取り組んでいます。

当社は、経営理念の行動指針に「安全・防災・  
環境保全を最優先課題とし 社会と社員の安  
全と健康を守り 環境保護に努めます」と掲げ、  
安全衛生、防災および環境活動に真剣に取り  
組んでいます。

当事業場は、1926年に滋賀県大津市に創立  
して以来、滋賀県特有の文化、風土を培ってき  
た琵琶湖の恵みを受け、事業活動を行ってまい  
りました。21世紀を目前にした今、地球温暖化  
や環境汚染などの環境問題に直面していますが、  
レスポンシブル・ケア活動、ISO14001(1999年9  
月認証取得)などを通じ、今後も環境保全・環境  
改善について積極的に取り組んでいく所存で  
ございます。

本報告が、東レグループの環境保全・環境  
改善活動について、皆さまにご理解いただく一  
助となれば幸いです。

滋賀事業場長

東レグループでは、環境保全を最優先経営課題とし、  
社会と社員の安全と健康を守るとともに、  
環境保護とエコロジーに対応した製品・技術開発により  
社会に貢献していきます。

環境保全から、環境改善へ。





# Ecology

## 東レグループ滋賀全体の環境改善活動

### 東レグループ滋賀 環境方針

#### 【環境理念】

安全・防災・環境保全を最優先課題とし、社会と社員の安全と健康を守り環境保護に努めます。

#### 【環境方針】

- 1.環境関連の法規制および事業場が同意したその他の要求事項を遵守し、事業活動に関わる環境影響を常に配慮して、環境保全活動を推進します。
- 2.汚染の予防を推進し、省エネルギーや廃棄物の削減に努め、環境影響の最小化を積極的に進めます。
- 3.環境目的および目標を設定し、定期的に見直しを行い、環境保全の継続的な改善を図ります。
- 4.滋賀県特有の文化、風土を培ってきた琵琶湖がある事を認識し、排水の水質維持管理に努めるとともに、地域の環境保全活動に積極的に参画します。
- 5.本方針は、文書化し、実行し、維持するとともに全従業員に周知徹底します。
- 6.本方針は、一般に公開します。

制定：1999年2月1日  
滋賀事業場長

東レグループ滋賀では、ISO14001(環境マネジメントシステムの国際規格)を取得し(認証番号：JQA-EM0527)、環境管理に関する方針、計画を策定し、それを実行しフォローする環境改善のための管理システムを構築し、運用しています。



# History

## 環境保全活動の経緯

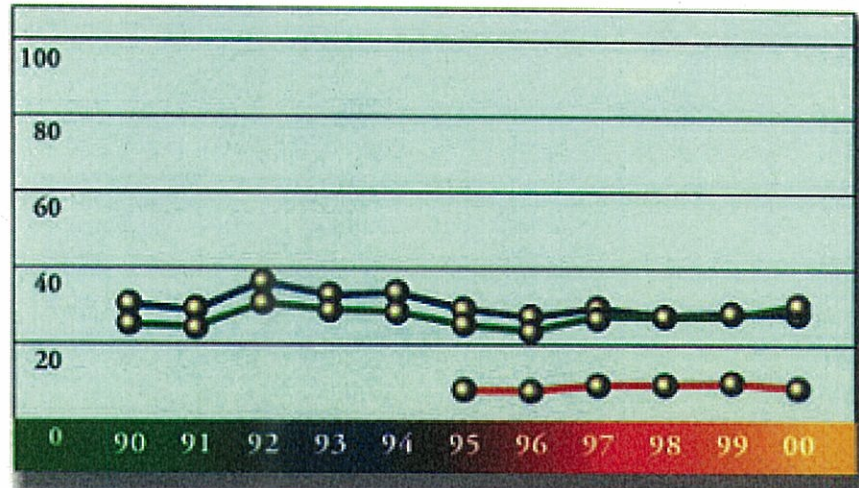
- 1969 公害委員会(現:安全衛生環境委員会)設置
- 1970 環境技術課(現:環境保安課)設置
- 1971 公害防止技術相談室設置
- 1972 全員参加による「園山公園」作り
- 1973 環境管理規程、緑化基本方針制定
- 1974 瀬田川監視室設置
- 1975 滋賀県緑化コンクールで「金賞」受賞
- 1976 公害防止協定締結
- 1979 化学物質安全指針制定
- 1981 エネルギー技術室設置
- 1990 産業廃棄物削減プロジェクト開始
- 1991 地球環境委員会、地球環境研究室設置  
工場緑化推進全国大会で「通産大臣賞」受賞
- 1993 安全・防災・環境監査開始
- 1995 日本レスポンシブル・ケア協議会に参加
- 1998 国内関係会社安全・防災・環境監査開始
- 1999 廃棄物第二次削減計画策定、開始  
ISO14001認証取得、同認証取得支援事業開始

### 大気汚染防止

#### 大気中の硫黄酸化物

(指数)

\*規制値を100とする



- 1号ボイラー (K値)
  - 2号ボイラー (K値)
  - ディーゼル発電 (K値)
- K値：硫黄酸化物排出基準の算出における数値

#### —大気中の硫黄酸化物の管理—

ボイラーなどから排出される硫黄酸化物については、規制値より低い値で維持管理しています。

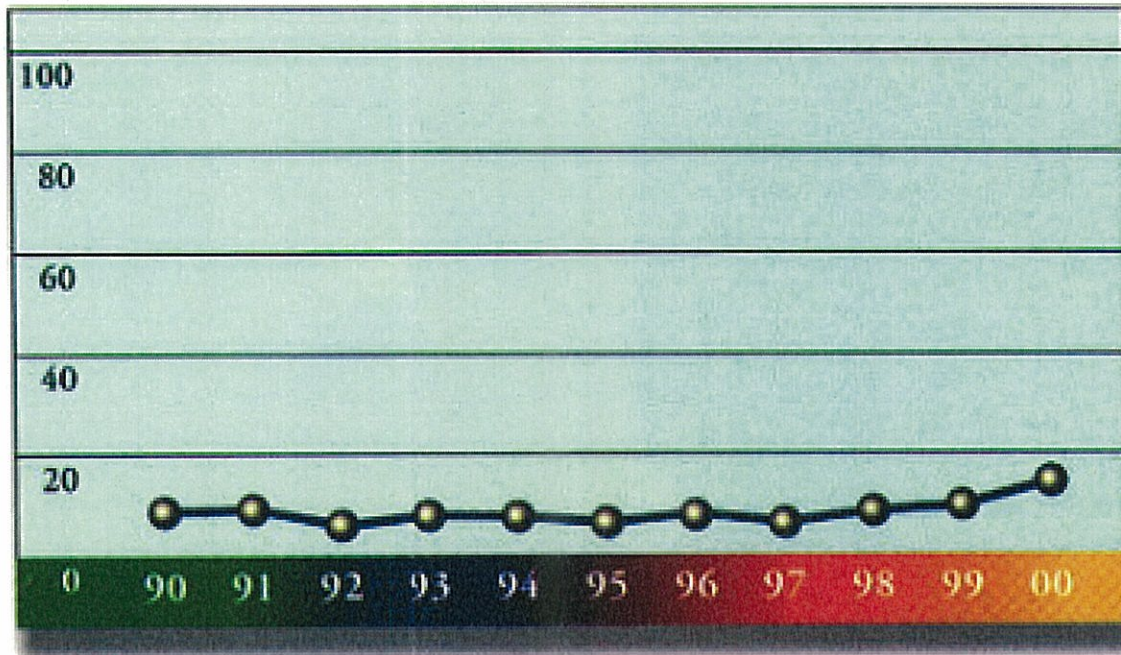


# 水質汚濁防止

## 排水中のBOD

(指数)

\*規制値を100とする



● BOD：生物化学的酸素要求量（有機物が微生物により酸化分解されるときに必要な酸素量。河川の汚濁指標。）

### —排水中のBODの管理—

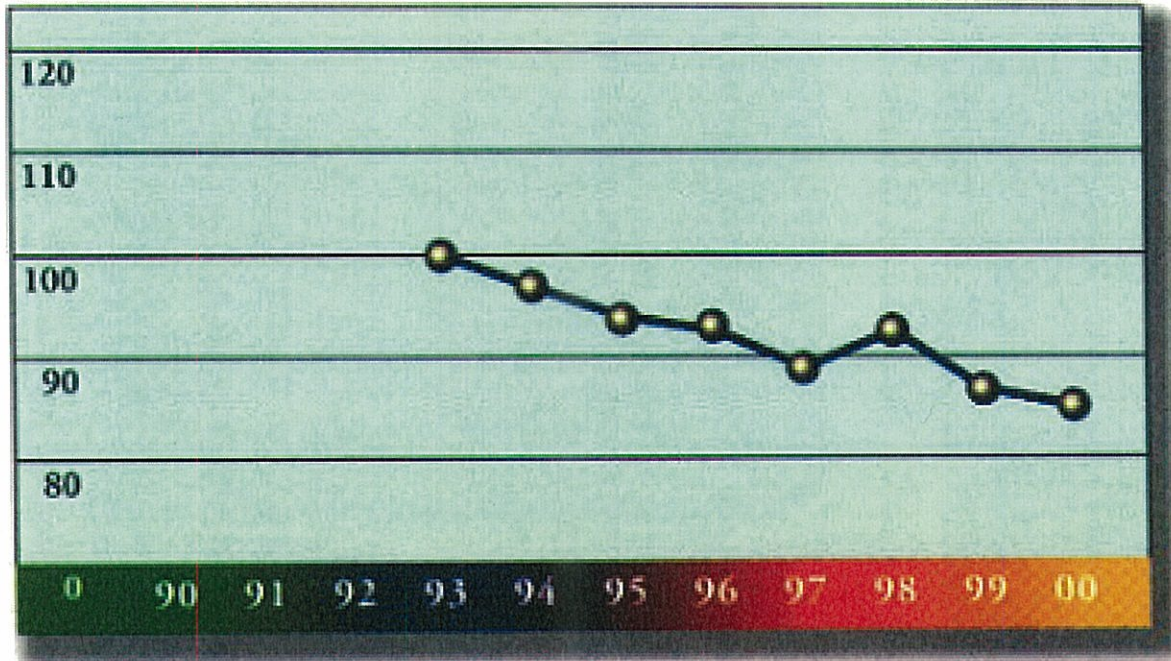
工場排水については、規制値より低い値で維持管理していますが、さらにプロセスの見直し、排水処理設備の効率的な運転に努めています。

# 省エネルギーの推進

## エネルギー原単位

(指数)

\*1993年を100とする



● エネルギー原単位：単位生産量当たりの原油換算エネルギー消費量

### —エネルギー原単位<sup>(注1)</sup>の削減—

1993年に改正された「省エネ法」に基づき、エネルギー原単位を毎年1%削減する目標を掲げ、エネルギーロスの防止やプロセスの省エネ診断など地道な省エネ活動を進めています。

(注1) エネルギー原単位：単位生産量当たりの原油換算エネルギー消費量

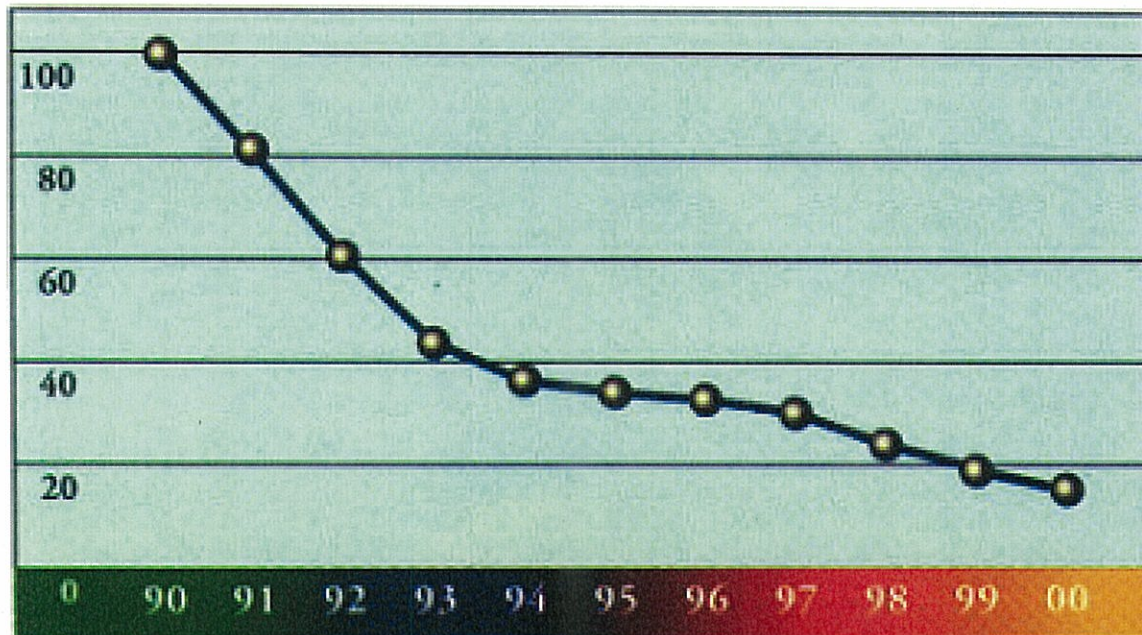


# 産業廃棄物削減

## 産業廃棄物

(指数)

\*1991年を100とする



● 産業廃棄物：再資源化物を除く産業廃棄物

1990年度から「廃棄物削減プロジェクト」をスタートし、2000年度までに70%削減する目標を掲げ、廃棄物の有効活用や発生量の削減に努めてきました。この結果、97年度には当初計画を3年前倒しして目標を達成しました。

1999年度からは、「第二次削減計画」を作成し、廃棄物の有効活用および発生量の削減を積極的に進めています。

# Communication

## 地域社会とのコミュニケーション

環境美化運動、園山公園の一般開放などを通じて、  
地域社会とのコミュニケーションの充実を図っています。



### びわ湖清掃

毎年、「びわ湖の日」である7月1日を中心に、「びわ湖を美しくする運動」の一環として事業場周辺の河川の一斉清掃を行っています。



### 園山公園の一般開放

園山公園は、事業場の西に位置し、春は桜が咲き乱れ、秋には紅葉を楽しむことができる自然が豊かな公園です。社員や家族のみならず、一般の方々にも利用して頂いています。



### 湖岸のヨシ刈り

びわ湖を守る運動として実施されている「ヨシ刈り」にも参加しています。



### 盛越川での地域行事

晴嵐学区の河川愛護団体「盛越川を愛する会」の地元地域行事にも積極的に共催参加しています。



### 森林ボランティア

樹木の生育を助け、森林を守るための下草刈りや間伐を行っています。



### 水浄化・造水システム



極細繊維を特殊加工した高性能ろ過布を用いた水浄化システムで、5ミクロン以上の微粒子を除去でき、長期間の使用が可能です。

池・湖沼および工業用水の浄化、上水道水源浄化、下水高度処理、プール浄化、災害時の水確保などの生活に密着した、幅広い分野での環境保全活動に貢献しています。

### エアフィルター



ファインテクノロジーを使用した電石不織布と独自のフィルター設計技術から生まれたエアフィルターです。捕集性能の高度化、安定化を実現し、空調、産業プロセスおよび家庭用空気清浄機などに利用されています。

### 防草シート



特に防草を目的として開発されたポリエステル100%の長繊維不織布です。優れた遮光性と貫通抵抗性で、雑草の生育をほぼ完全に阻止します。

従来の防草手段としての防草剤による、土壌汚染や樹木への影響も無くなります。

# 地球環境

### 浄水器



活性炭と中空糸の技術を活用し、ご家庭の蛇口に取り付けるだけで美味しく安心して飲める水を提供しています。

### (株) 東レリサーチセンターの 分析・技術支援



環境中の各種有害物質の定量分析、各種環境対応技術の開発に対する技術支援などを行っています。

(写真説明:環境有害物質のppbレベルでの高感度分析ができるGC/MS装置です。)

# 改善・貢献

### 東レエンジニアリング(株)の 環境コンサルティング および環境設備の設計・施工管理



環境コンサルティングとして環境アセスメントや企画・計画調査を行っています。

また、排水処理および廃棄物処理設備の設計・施工なども行っています。

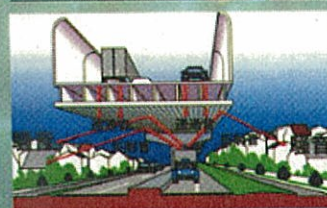
### 東レテクノ(株)の測定・分析・調査



計量証明事業(水質、大気、土壌、底質、騒音、振動など)、作業環境測定事業(有機溶媒、粉塵、など)の環境関連の他、工程・製品などのトラブル原因調査(工業分析)や琵琶湖の有機汚濁成分の解析なども行っています。

湖沼水質調査

### 滋賀殖産(株)の環境事業



地域に密着した企業として、東レの技術、経験を生かして環境に優しい製品の開発と販売を行っています。

主な製品として、リサイクルフィルムを使った名刺、リサイクルユニフォーム、ショッピングバッグ、ポリエステル綿を使った高速道路裏面吸音材(写真)などがあります。

また、企業の活動を通して得られた豊富な経験を生かし、地球環境保全ニーズに応え、ISO認証取得のためのコンサルティングも行っています。



## 問い合わせ先

---

東レ株式会社滋賀事業場 環境保安課

TEL:077-533-8044

FAX:077-533-8029